



日本の教員養成系大学・学部における 省察プログラムの多様性と共通性

研究の動機

- 本学のフラッグシップ大学構想の一環として実施され始めている省察プログラムの今後を展望したい

研究の目的

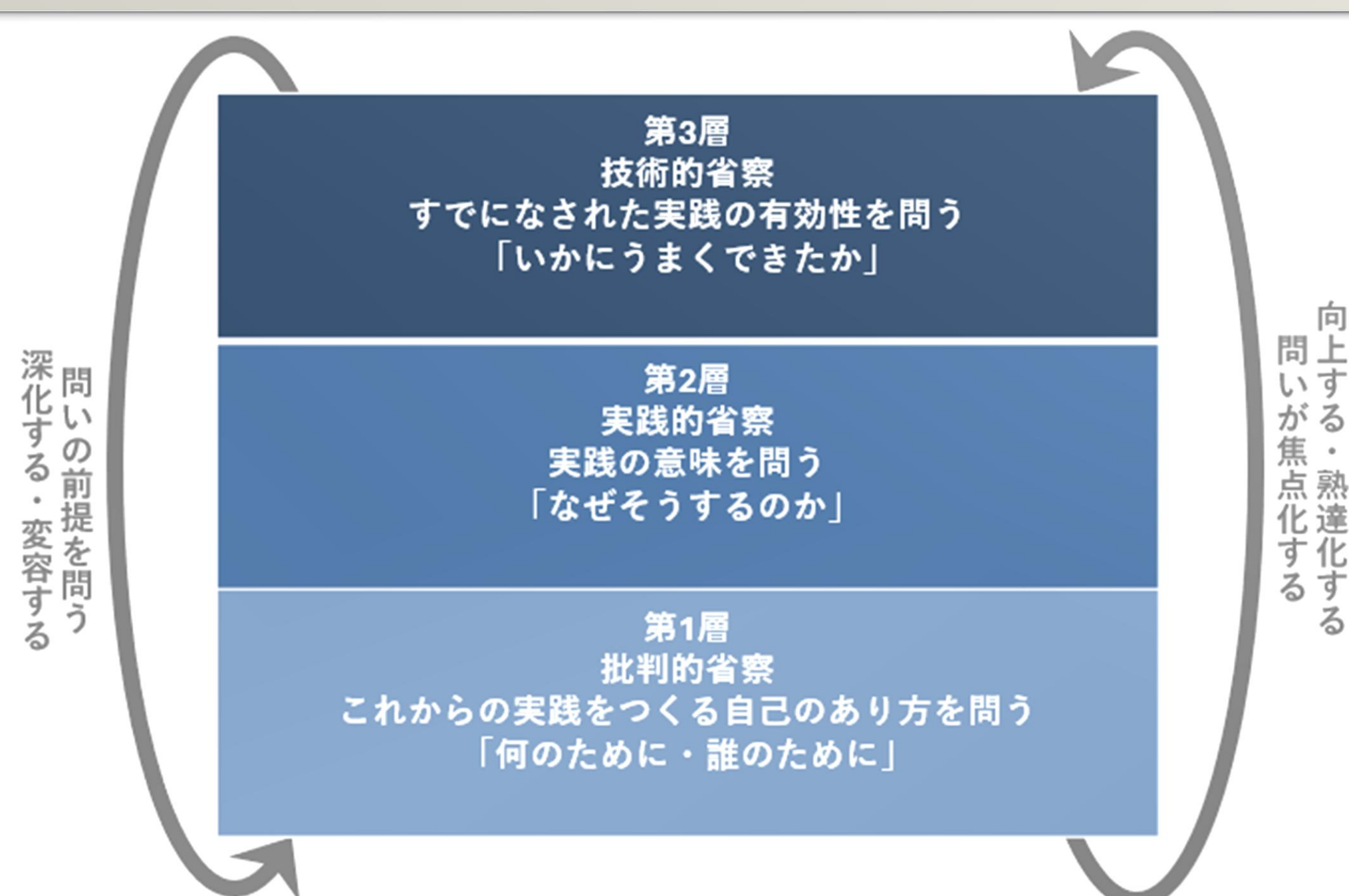
- 日本の教員養成系大学・学部における省察プログラムの多様な実態を把握して布置を描き、その布置に本学の省察プログラムをどう位置づけるかを探る
- 各教員養成系大学・学部の省察プログラムの前提となっている問題関心の交点を見出す

課題と方法

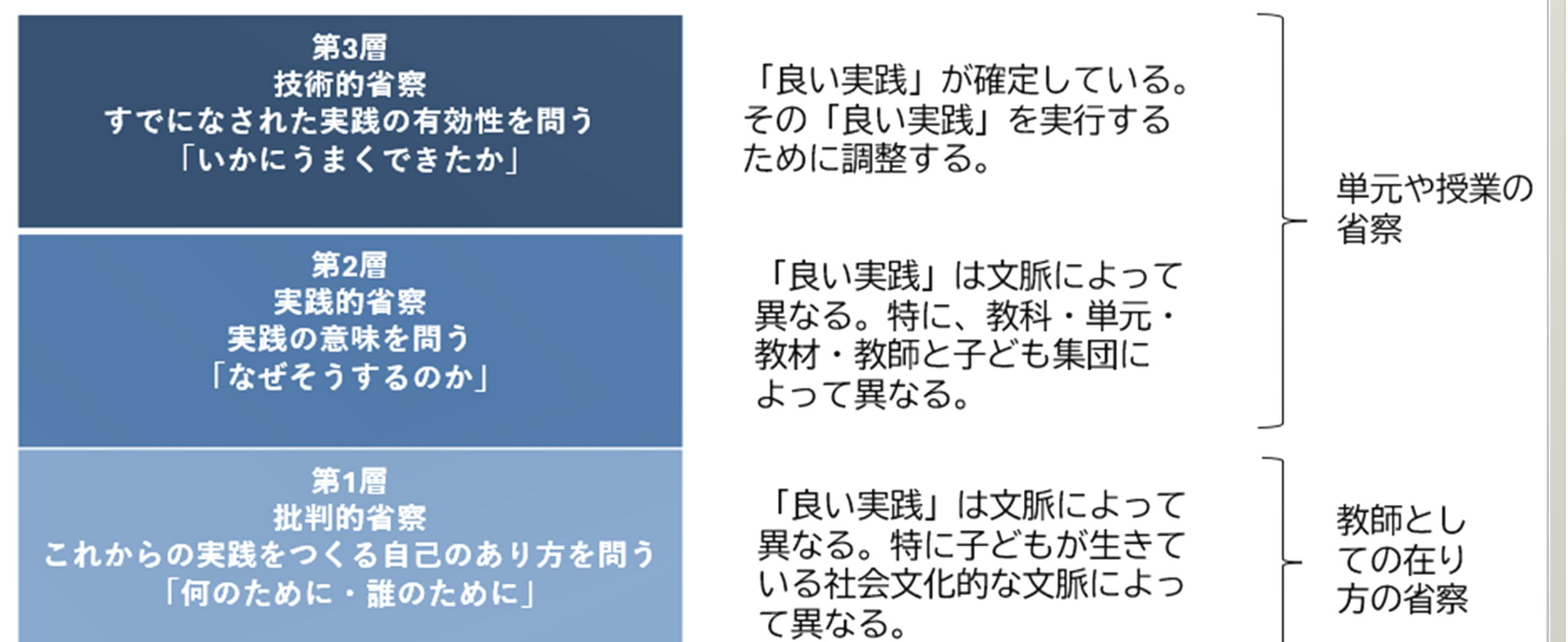
- 多様な実態を把握し布置を描くための枠組みを仮説的に構築する
- 文献・資料調査および実地調査に基づいて、多義的な省察概念を整理する

成果と展望

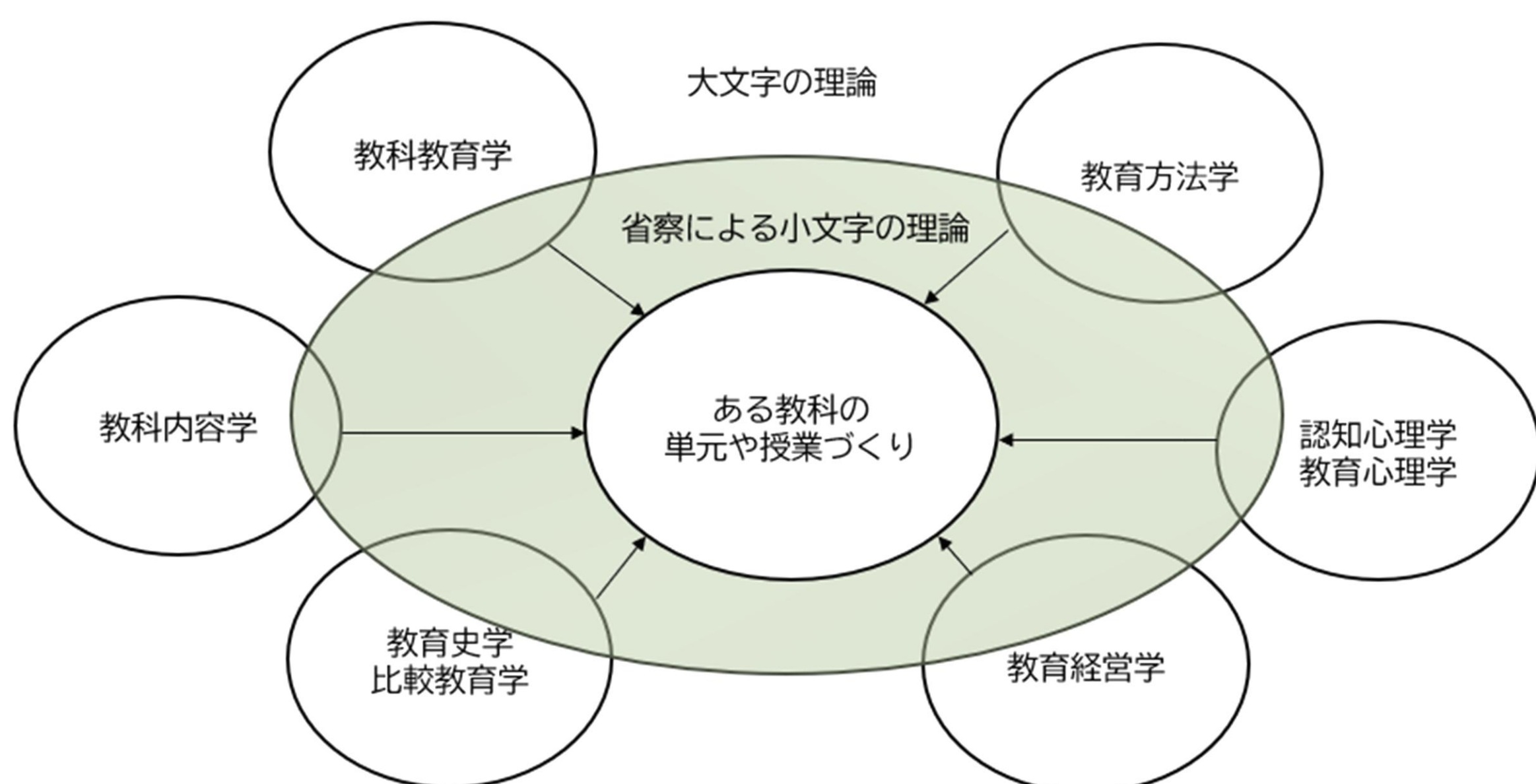
- 省察概念を三層に整理し、三層の省察と教師の成長と関連づけて整理した
- この枠組みを仮説として、日本の教員養成系大学・学部における省察プログラムの多様な実態を把握して布置を描いていく



秋田喜代美（1996）「教師教育における『省察』概念の展開」森田尚人ほか編『教育学年報5 教育と市場』世織書房に基づき、八田が作成



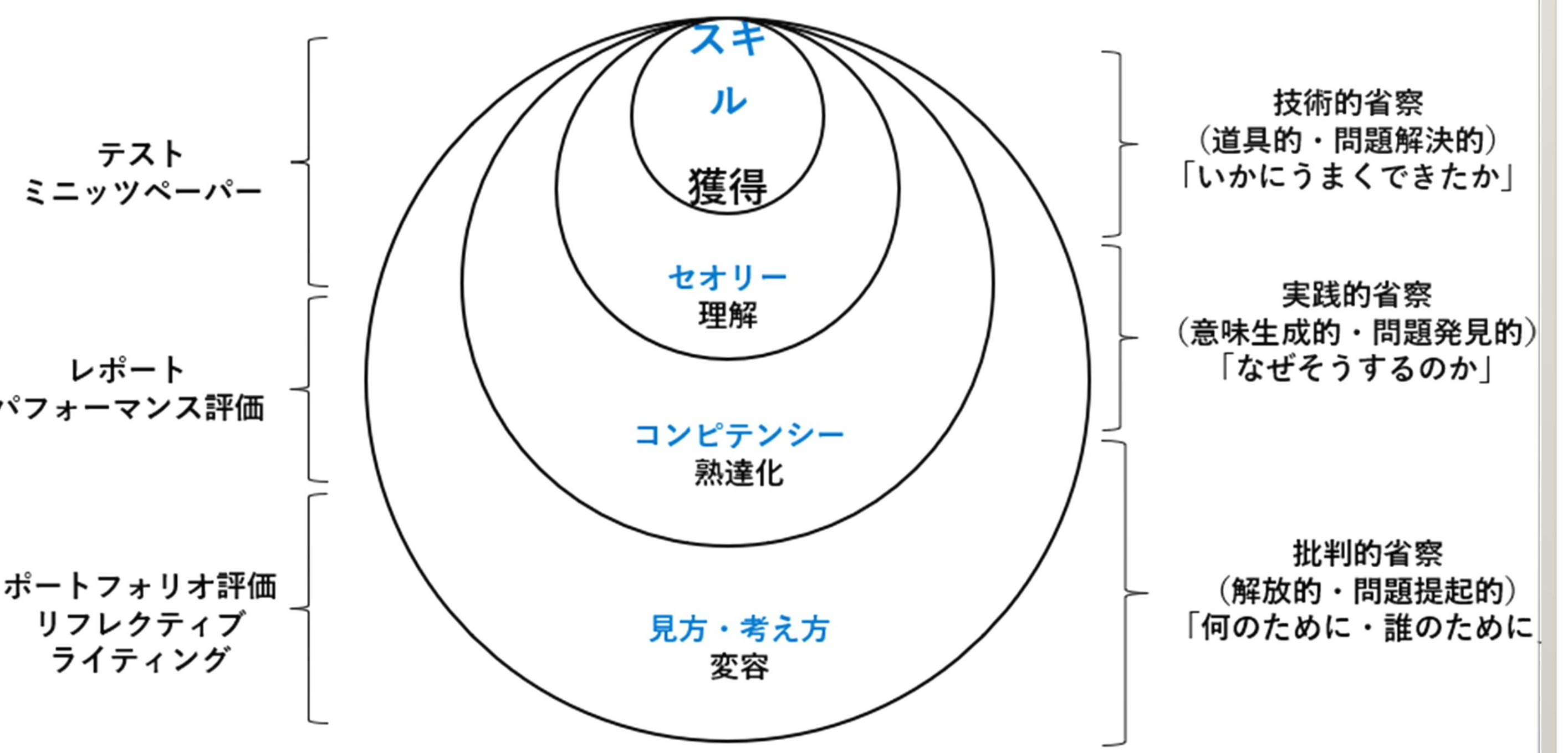
秋田喜代美（1996）「教師教育における『省察』概念の展開」森田尚人ほか編『教育学年報5 教育と市場』世織書房に基づき、八田が作成



評価の方法

成長の次元

省察の三層



石井英真（2024）『教育「変革」時代の羅針盤』教育出版、p.180に、八田が加筆修正